



# 第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

前奏			会衆
頌栄	540		〃
主の祈り			〃
ブレイズ	「輝かせよ」		〃
	「主の前にひざまずき」		〃
聖書朗読	マタイ 10:34-39		司会
祈禱	(新約聖書 p19)		〃
賛美	164		会衆
メッセージ	「自分の十字架を担う」		牧師
祈禱			〃
賛美	新生300		会衆
献金			司会
報告			司会
頌栄	新生672b		会衆
祝禱			会衆

## <巻頭言>

牧師 郭永東

主イエスならどうなさるか？はキリスト教の本のタイトルです。著者は「Charles M. Sheldon」というアメリカ人の牧師で、英語のタイトルは「In His Steps」で、「みあしのあと」という意味です。これが韓国で出版された時、「主イエスならどうなさるか」というタイトルに変えられました。本の内容はタイトルの通りです。選択の連続である私たちの人生の中で、選択をする時イエス様ならどうなさるかという質問をしたらいいということです。この質問を適用できる人には少なくとも3つの益があります。

一つ目は、選択をする時イエス様を優先にする人になれる。人々は選択をする時自分自身が優先にあります。相手を優先に考える人はほとんどいません。判断の優先順位が自分自身であるとのこと。しかし、イエス様ならどうなさるかを考える人は、自分の判断よりイエス様を優先に考える人になれるのです。

二つ目は、狭くなっていた自分の視野がイエス様の視野まで広がります。人は自分の知識にとらわれています。自分が知っていること以外のことをすることは難しいということです。しかし、自分ではなくイエス様を考慮することによって、自分にはできないけれど、イエス様にはできることを考えるようになります。

三つ目は、人生の中に働いておられるイエス様を経験できます。小さなことから大きなことまですべての状況の中でイエス様なら？と質問する人は、神様と共に歩むことの本当の意味を知ることが出来ます。誰かと一緒に歩きながら何も話さないなら気まずい雰囲気を作ると思います。緊密な関係は必ずコミュニケーションが必要であるということです。神様が私を考え、私が神様の御心を考えるのが神様と共に歩むことの本当の意味でしょう。



# 第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

司会：郭永東牧師

聖書	ルカ 7:36-50 (新約聖書 p120)
メッセージ	「罪深い女による油注ぎ」
ブレイズ	「心に感謝を持ちながら」
	「世の初め」
賛美	讚美歌 312 新生 14



## ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

聖書	エズラ記 3:1-13
メッセージ	「神殿建設のはじまり」